

【学校課題】

- ◆個人差への対応
 - ・学力、心の発達、家庭の教育力
- ◆望ましい人間関係の醸成
 - ・子ども対子ども、子ども対大人、大人対大人
- ◆「耐える力」の育成
 - ・我慢、失敗、不便利さの体験

【学校の教育目標】

未来を拓く子

「たくましさ」と「やさしさ」
があふれる学校

＜合言葉＞
「自分から みんなで」
～ 一歩前進 ～

【岐阜県の方針】
ふるさとに誇りをもち、「清流の国ぎふ」を担う子どもたちの育成

【各務原市の方針】
誇り・やさしさ・活力のある児童生徒
～一人一人が幸せを実感～

【めざす子どもの姿】

- 最後までねばり強くやり遂げ、自らの個性や能力を伸ばすことができる子 <個の高まり>
- 仲間と互いに尊重し合い、共に支え合い、高まり合うことができる子 <集団の高まり>
- 夢や目標に向かって、常に向上心をもって、主体的に努力をすることができる子 <質の高まり>

【めざす学校の姿】

～ 「ほほえみ」と「感動」のある学校 ～

- 一人一人の子どもの命を大切にし、一人一人の子どもが「居心地よさ」を感じることができる学校
- 一人一人の子どもが、「分かった」「できた」という喜びやうれしさを味わうことができる学校
- 学校・家庭・地域が一枚岩となって、一人一人の子どもに「幸せな暮らし」をつくり出す学校

【学校経営の方針】

「凡事徹底」「不易と流行」「臨機応変」を合言葉に、互いに「切磋琢磨」しながら「当たり前のことを当たり前」にできる」子どもの育成に全力をふりそそぐ

【指導の重点と具体的方途】

「学び」づくり	「仲間」づくり	「暮らし」づくり
①学習姿勢・学習規律の定着 ・足P、背中P、Gひとつ ②「聴き合う」授業の徹底 ・「うなずき」と「相づち」 ③基礎学力の向上 ・「ユニバーサルデザイン」の視点に立った授業づくり ・Webラーニングの推進 ④「主体的・対話的で深い学び」に向かう授業改善 ・問題解決型の学習過程・学習活動のひと工夫や改善	① 互いを「思いやる」挨拶の習慣化と歌声づくり ・「ありがとう！」のシャワー ・歌声集会、那加一文化の日 ②「ぼかぼか言葉」の種まき ・「那加一っ子宣言」の具現 ③子どもの自発的・自治的な活動の創造 ・学級活動と児童会活動の充実 ④「たて遊び」を核とした異年齢での集団づくり ・上級生の姿を手本に	①基本的な生活習慣の定着 ・「心を磨く掃除」「心を整える履き物そろえ」「ボランティア活動」の日常化 ②体力づくりの推進 ・「青空タイム」の有効活用 ③寄り添う教育相談の充実 ④美しい学校環境の整備 ・「環境は人を変える」 ⑤危機管理態勢の強化 ・「さしすせそ」の意識化 ・「1:29:300」の法則

【教職員の基本姿勢】

- 「礼節と美」を重んじ、「当たり前のこと」を当たり前でできる教職員
- 使命感や責任感をもち、常に「チーム那加一」を意識しながら協働できる教職員
- 何事にも誠意や熱意をもって対応し、子どもや保護者、同僚から信頼される教職員
- 自分を厳しく見つめ、謙虚に振り返り、「自分磨き」に励むことができる教職員

「学校運営協議会」を核とした学校・家庭・地域・関係機関の強固な連携